

## 2

# 豊かな心を育むまちづくり

## 2-1 生涯学習環境の充実

### ■現況と課題

#### 1. 生涯学習の普及・啓発

本町は、平成10年3月に道内で4番目となる「生涯学習の町」の宣言を行い、生涯学習をまちづくりの柱の一つに位置づけ、学習活動を通して町民一人ひとりがいきいきと豊かに暮らし、活力と個性あふれるふるさとづくりを進めるために、学習環境の充実に取り組んできました。

「生涯学習の町」を宣言してから14年近く経過し、改めて生涯学習が町民にとって身近なものになるよう、目指す方向や内容についてわかりやすい情報を発信する必要があります。

#### 2. 学習活動の奨励と成果を活かすための環境づくり

少子化、高齢化といった社会の変化や地域経済の低迷など、地域全体や町民一人ひとりの課題に対応し、地域の連帯感を高め、活力あるふるさとづくりや教養を深めるための各種学習機会の提供と団体等などが行う自主的活動の促進を図る必要があります。

また、学習機会の提供だけでなく学習した成果を評価することが社会教育行政に求められており、道が実施している「道民カレッジ」と連携を図りながら、講座ごとに単位認定(学習成果の評価)を記録する「うらかわカレッジ」の充実を図る必要があります。

今後、カレッジ登録者の拡大を図り、一定の単位取得者には称号を授与し、学習指導ボランティア登録者とともに、身近な学習指導者として地域の中で活動することが求められ、そのための活動の場づくりが課題となっています。

個人やサークルなどそれぞれの目的や形態にあった学習活動が、総合文化会館、図書館、博物館などの施設で活発に行われています。

図書館では平成20年度から月曜日以外の祝日の開館とインターネットによる蔵書の検索・予約のシステムを導入するとともに、老朽化した図書館バス「うらら号」や利用者開放用パソコンを更新するなど、利用者の利便性を考慮した施設機能の充実に努めてきました。

今後とも、各施設の機能を活かすとともに利用者の要望に応え創意工夫を凝らした施設運営を行うことが求められています。

#### 3. 学社連携・融合の推進

学校教育と社会教育がそれぞれの機能を活かし相互補完や相互協力する「学社連携・融合」は、子どもたちをはじめ町民一人ひとりの学習活動をより充実させるための手段として重要であり、そのために日頃から学校との情報交換など、無理のない連携・融合を図っていくことが求められます。

#### 4. 学習情報と相談体制の充実

学習情報の提供は、学習者への案内だけでなく、町内の様々な学習活動を顕在化させることになり、既存の学習活動を活発化させ、潜在的な学習者を具体的な活動に誘引するものとして期待されます。今後、情報の収集に力を入れるとともに、印刷物だけでなく、インターネットなどの活用を図り、学習活動が身近に感じられるものとなるような情報の発信を行うことが重要となります。また、これらの課題や町民の新たなニーズに積極的に対応し、日常的な学習相談に応えるためには、何よりも職員の専門性を高めることが重要であり、今後、地域の団体活動などに積極的に参加していく必要があります。

### ■今後の方向性

#### 1. 生涯学習の普及・啓発

(1)「生涯学習の町」宣言の普及啓発を図り、「生涯学習」が町民一人ひとりにとって身近なものとなるよう、生涯学習フェスティバルの開催など様々な機会を通して、わかりやすい情報の発信に努めます。

#### 2. 学習の奨励と成果を活かすための環境づくり

(1)地域の連帯感を高めるため、地域づくりに繋がる学習、教養を深める学習、社会の変化に対応した学習など様々な学習機会の充実を図るとともに、自主的活動を促進するため、必要な指導、助言などの支援を行います。

(2)学んだ結果が単位化され学習記録ともなる「うらかわかレッジ」の登録者拡大を強化し、自己管理型学習の奨励を行い町民一人ひとりの学習活動の充実を図ります。

(3)学んだ成果をボランティア活動や他の人たちの学習指導など地域の中で活かすため、学習指導ボランティア登録者の活用促進や活動の場づくりを行い、学び合うシステムづくりを進めます。

(4)町民の様々なニーズに対応し、各施設の機能を活かした使いやすい施設運営を図るとともに、施設ボランティアの育成と活用に努めます。

(5)図書館は、町民がより豊かに暮らしていくための情報を蓄積し提供する場であり、新刊書や各種資料の収集やレファレンスサービスの充実を図ります。また、普及が進む電子図書の導入について検討するとともに、更新した図書館バスうらら号の町内巡回の充実に努めます。子どもの頃に本に親しみ良い本と出会うことが心の成長に大きな影響を及ぼすことから、幼い頃から様々な場面で本とふれあう環境づくりを行うとともに、学校と連携し集団読書やおはなし会の開催など、子どもの読書を推進します。

#### 3. 学社連携・融合の推進

(1)学習活動の充実や教育効果を高めるための学社連携・融合が行えるよう、学校への情報提供や活動の支援に努めます。

#### 4. 学習情報の提供と相談体制の充実

- (1)様々な学習に関わる情報の収集に力を入れるとともに、印刷物やホームページなど各種メディアを活用し町民の学習活動を誘引させるような情報提供に努めます。
- (2)個人や団体など町民から様々な学習相談や学習活動のコーディネーターとして対応できる職員を養成します。

#### ■実施事業

- ・生涯学習フェスティバルの開催
- ・生涯学習の町宣言の普及・啓発
- ・地域づくり講座
- ・東町・荻伏コミュニティカレッジ
- ・まちづくり出前講座
- ・浦河高校開放講座
- ・成人大学講座の開催
- ・自治会女性教養講座の開催
- ・高齢者教室九十九大学、九十九大学院の充実
- ・社会教育団体の活動支援
- ・うらかわかレッジ事業
- ・ボランティアグループ育成事業
- ・図書館資料整備
- ・図書館電子書籍導入
- ・図書館電算管理事業
- ・学校向け情報提供方策の検討
- ・生涯学習ニュース発行事業
- ・学習情報ガイドブック発行事業
- ・学習情報コーナーの活用
- ・「生涯学習だより」の発行
- ・ホームページの活用
- ・学習相談体制の充実